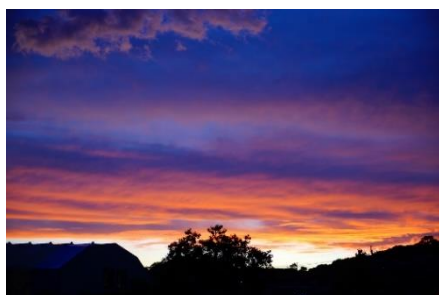




博愛

ご自由にお取りください
Take Free

第11号



表紙の写真：「写真展 in 玉成園 2021」 出展作品より

～病院理念～

博愛の精神をもって医療に携わり、地域住民の健康な生活の維持、向上に尽くします。

<目次>

1 ページ：新年あいさつ・哲翁病院百年史

2 ページ：哲翁病院百年史

3 ページ：療養病棟紹介

4 ページ：リハビリテーション科より

5 ページ：医薬品安全管理研修会・避難訓練

6 ページ：レスパイト入院 川柳大会

7 ページ：土曜日午後診療・送迎・求人案内

8 ページ：ヘルシーメニュー

■新年のご挨拶



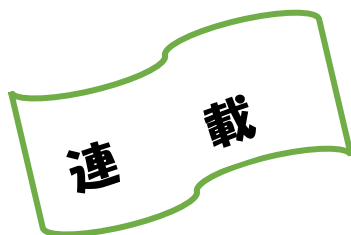
あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。
今年のお正月はコロナウイルスの感染状況が落ち着きつつあったので、久しぶりに帰省され、ご家族・ご友人と年末年始を有意義に過ごされた方も多かったのではないかと思います。

しかしながら、現在南アフリカから出現したオミクロン株は弱毒性とは言われているものの、感染力が強く市中感染が広がりつつある状況です。今年の干支である壬寅（みずのえとら）は、厳しい冬を越えて芽吹きをはじめ、新しい成長の礎となる年といわれていますが、我々も今まで通りの標準予防策の継続、ワクチン接種・抗ウイルス薬等の進展により、令和4年は状況が改善され社会全体がより良い方向へ向かっていく年になることと期待しています。

職員一同も「博愛の精神をもって医療に携わり、地域住民の健康な生活の維持、向上に尽くします。」をモットーに、医療を提供する所存です。

令和4年が皆様にとって素晴らしい年であることを祈念致します。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

院長 哲翁和博



■哲翁病院百年史～地域と先達に支えられ～（第4回）

当院は令和4年で創立109年を迎えます。本誌では創立100周年を記念して発行された「哲翁病院百年史 ～地域と先達に支えられ～」の内容を連載にてご紹介しています。今回は第4回となり発展期「医療法人 設立」についてご紹介いたします。

※第1回～3回の内容は当院のホームページ「広報紙はくあい Vol.8～10」でご覧いただけます。

発展期【医療法人 設立】

第2次世界大戦終戦後の昭和26年、結核予防法に基づく指定医療機関となり、医療法改正で創設された医療法人法にのっとり、昭和28年4月医療法人博愛会哲翁病院となった。法人理事長兼院長には哲翁元邦が就任した。

病院の概要は、医師3名（哲翁元邦、哲翁鉄治、哲翁たまよ）、診療科目は、内科、外科、産科、婦人科、眼科であった。昭和29年生活保護法による指定医療機関となり、昭和30年優生保護医の指定を受けた。

昭和32年九州大学医学部を卒業後、同大学第2外科学教室に教官として在籍していた哲翁惇が帰郷して外科を担当し、精力的に手術を行った。九州大学時代の同僚、井上権治先生（後徳島大学外科教授）と武田与平先生（九州大学第2外科時代）に福岡から土曜日の夕方お越しいただき、主として消化器疾患の外科手術を数例、土曜の夜から日曜の朝まで夜を徹して行った。

昭和32年初代院長哲翁元邦の死去に伴い2代目理事長兼院長に哲翁鉄治が就任した。昭和33年、東京女子医専を卒業後九州大学産婦人科学教室に在籍していた哲翁富士子が、学位論文の仕事を終え、産婦人科担当として着任した。それまで産婦人科手術は、哲翁たまよ、哲翁鉄治で行っていたが、哲翁富士子と哲翁惇に替わり、子宮筋腫、良性卵巣腫瘍など良性疾患の手術を多岐にわたり手掛けていた。

分娩数も最盛期は年間600～800例となり、最高1日13例を数え、病院の空きスペースを総て使わねばならなかったという。

昭和35年原爆被爆者一般疾患医療機関の指定を受けた。昭和38年哲翁鉄治が死去し、哲翁惇が3代目理事長兼院長に就任した。

昭和40年基準給食の認可を受け給食を開始した。



次号へつづく

療養病棟 紹介



当院 2 階は医療型療養病棟です。

医療型療養病棟は、急性期治療が終了後、病状は比較的安定しているものの引き続き医療的なケアや病院での療養が必要な患者様が、安心して治療を継続し、在宅復帰を目指す病棟です。
特に、以下のことに力をいれています。

【医療型療養病棟 基本理念】

患者さんの人権を尊重し、安全で安心した療養生活を送ることが出来るよう医療・介護を通じて支援いたします。

口腔ケア

口腔内の清潔を保ち、肺炎予防に努めます。また、嚥下機能低下を予防します



皮膚の保湿ケア

脆弱な皮膚や乾燥が原因となって起こる皮膚トラブルを予防します



紙飛行機を飛ばしていま～す✈



クリスマスの歌を歌いました

レクリエーション

季節の行事や趣味を取り入れメリハリのある日常を送っていただけるように心がけています。



2022 年も、患者様おひとりおひとりの必要性に合わせたケアを提供いたします

■リハビリテーション科より～作業療法室・リハビリ室の様子～



12月・1月は『クリスマスツリー』『赤富士』『寅と絵馬』『だるま』等を患者様と一緒に作製しました。

また、書き初め大会も行いました。皆さん楽しく作製され、年末年始に制限中のため自宅へ外出できなかった患者様から「リハビリに来ると正月気分になります」といった声が聞かれたりもしました。皆さんが心も体も元気になれるように、私達スタッフ一同笑顔で頑張りたいと思います。

そして、今年も哲翁病院に福が来ますように！！という願いを込めて、だるまも作成しました。



リハビリテーション・ケア合同研究大会参加 in 兵庫 2021 WEB 参加

講演に参加して印象に残ったのは「尊厳を守るテクノロジーの活用」。医療・介護の現場側で必要なものの「ニーズ」と企業技能の「シーズ」が上手く噛み合うために実際に商品化された道具の経緯を基にした講演を聞きました。患者様の思い描いているやりたいことや自立した生活を実現するためには、双方の努力と協力が必要だと感じました。

作業療法士 荒木

今回、研修会を受講し1次予防・2次予防該当者に対して、転倒予防等の教室や体操・運動を提供していく事の大切さを学びました。また、身体機能改善のみを目標とするのではなく、活動や参加の視点からリハビリを提供していくことの重要性を学び、今後の業務に反映していきたいと思います。

理学療法士 明瀬

■ 医薬品安全管理研修会を開催しました

令和3年11月18日（木）・19日（金）に、医薬品安全管理研修会を開催しました。講師に長崎県赤十字血液センターの木下様をお迎えし、「安全な輸血のために」というテーマでご講演いただきました。

また、看護師を対象とした輸血手技の実習も行われ、注意点を再確認できる貴重な機会となりました。

今回の研修会で学んだこと活かし、これからも安全な輸血に努めてまいります。



輸血手技実習の様子

■ 避難訓練を開催しました

令和3年11月26日（金）に消防署立会いのもと、避難訓練を開催しました。今回は、夜間に4階消毒室からの出火を想定し、通報から入院患者様の避難完了まで、緊張感をもって取り組みました。

また、特別養護老人ホーム玉成園のスタッフの応援もあり、協力して迅速な避難誘導を心がけました。

消防署からは、おおむね良好な評価をいただきましたが、担架で階段を降りる際の向きや、避難完了確認までに少し時間がかかってしまったことなどの指摘もありましたので、反省点を共有し、改善・実践していきたいと思います。



■ 家族介護教室開催を中止しました

令和4年1月22日（土）に、口之津港ターミナル2階多目的ホールにて、家族介護教室を開催する予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染状況を鑑み中止と致しました。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

今後の開催については、院内でのポスター掲示、当院のホームページ、広報紙などでお知らせを致しますので開催の折には皆様のご参加をお待ちしております。



レスパイト入院について

レスパイト（respite）とは、「一時休止」「休息」という意味です。

レスパイト入院は、ご自宅でご家族の介護をされておられる方を支援するための取り組みです。

当院でも介護者の日々の疲れ、冠婚葬祭、旅行などの事情により、介護が一時的にできなくなられた方のご相談をお受けしています。尚、14日以内の入院となり、当院のホームページでもご案内をしています。

ご利用いただける方

- 神経難病の方
- 胃瘻等の経管栄養の方
- 気管切開を受けられている方
- 喀痰吸引が必要な方
- 在宅酸素をされている方
- ショートステイの利用が難しい方

詳しくは、哲翁病院 地域医療連携室にお電話でご相談ください。

お気軽に
ご相談ください

哲翁病院 地域医療連携室
TEL 0957-86-5020(直通)

■川柳大会を開催しました！

本年度も職員を対象に川柳大会を開催しました。第3回を迎えた今年度は応募総数109句の中から優秀賞1句、入賞10句が選ばれました。

みごと優秀賞に輝いたのは、医療型療養病棟 小川舞子看護師の1句です。

優秀賞 「うるさいよ」と注意されるが地声です！！



■ 土曜日午後の診療をはじめました

令和4年1月8日(土)より、土曜日の一般外来の診療時間が下記のとおり変更となり、午後の診療も行います。

土曜日(午前) 9:00~12:30

(午後) 15:00~17:30

※1月~3月までの婦人科の土曜日午後診療は
第1土曜日第3土曜日となります。

土曜日の午後は 哲翁和博院長(内科)、副島真一郎医師(外科・内科)、深堀愛子医師(内科)が交代で診療を致します。予定は随時1階待合室の医師予定一覧にてお知らせ致します。

■ 『無料送迎 加津佐便』をはじめました！

令和4年1月14日(金)より「無料送迎 加津佐便」をはじめました。

毎週金曜日、土曜日に運行しています。

詳細は院内へ掲示しておりますので、ぜひご利用ください。



■ 求人案内

当院のスタッフとして一緒に働きませんか。

現在、哲翁病院では下記の職種を募集しています。

- ◎ 看護師
- ◎ 准看護師
- ◎ 看護補助者
- ◎ 調理員
- ◎ 受付および医療事務
- ◎ 社会福祉士



詳細は2次元バーコードより当院のホームページで確認、または下記電話番号まで直接お問い合わせいただいても結構です。

ご応募お待ちしております。



※ こちらの2次元バーコードをスマートフォン等でスキャンしますと、当院求人ページにアクセスすることができます。

【お問い合わせ先】

哲翁病院 総務課

0957-86-3226



当院自慢の一品

簡単ヘルシーメニューで健やかに

さつまいものオレンジ煮

<材料> 2人分

さつまいも・・・120g
 マーガリン・・・4g（小さじ1杯）
 オレンジジュース・・・60cc
 （果汁100%）
 砂糖・・・・・・・・6g（小さじ2杯）
 塩少々
 きざみパセリ少々



<作り方>

- ① さつまいもは皮をむき1cm角4cm長さの拍子木に切り、水につけてあく抜きをする。
- ② 厚手の鍋にマーガリンを熱して、①のさつまいもをさっと炒め、オレンジジュース、砂糖、塩少々を加えて落とし蓋をして汁気がなくなるまでつや良く煮あげる。
- ③ 器に盛りみじん切りのパセリを散らすといろどりもよく美味しくいただけます。



<レシピのポイント>

さつまいもを煮るときは弱火で汁気がなくなるまで煮くずれないようにじっくりと煮上げます。

オレンジの酸味が加わりあっさりとした甘みで色合いも良くビタミンも豊富で冬のおやつに最適です。

マーガリンの代わりにサラダ油などの植物油を利用しても美味しくいただけます。

<1人分の栄養価>

エネルギー	112kcal
タンパク質	0.8g
脂質	1.8g
食物繊維	1.3g
食塩相当量	0.1g



哲翁病院外来担当医一覧表

2022.1.8～

	診療科	月	火	水	木	金	土
午前	内科・消化器内科	哲翁 和博	哲翁 和博	哲翁 和博	哲翁 和博	哲翁 和博	哲翁 和博
	神経内科	哲翁 直子	哲翁 直子	哲翁 直子	哲翁 直子	哲翁 直子	
	外科・内科	山本 正幸 (11時まで) 副島 真一郎 (12時～/月2回)	山本 正幸 副島 真一郎	山本 正幸 (11時まで) 副島 真一郎	山本 正幸 副島 真一郎	山本 正幸 副島 真一郎	副島 真一郎
	産科・婦人科	哲翁 正博	哲翁 正博	哲翁 正博	哲翁 富士子 (哲翁 正博)	哲翁 正博	哲翁 正博
	消化器内科	長崎大学医師	福岡大学医師	山崎 一朋	福岡大学医師	福岡大学医師	
				長崎大学医師 (神経内科) (第2水曜)		長崎大学医師 (内分泌・代謝内科)	諫早総合医師 (循環器内科 1回/月) (皮膚科 1回/月)
	糖尿病内科						哲翁 たまき (1回/月)
午後	内科・消化器内科	哲翁 和博	哲翁 和博	午後休診	哲翁 和博	哲翁 和博	哲翁和博、副島真一郎、 深堀愛子の交代制
	外科・内科	副島 真一郎	山本 正幸 副島 真一郎		山本 正幸 副島 真一郎	山本 正幸 副島 真一郎	
	産科・婦人科	哲翁 正博	哲翁 正博		哲翁 富士子 (哲翁 正博)	哲翁 正博	第1及び第3週 市川(哲翁)晶/哲翁正博
	消化器内科	長崎大学医師			福岡大学医師	福岡大学医師	
							長崎大学医師 (神経内科) (第4土曜)
	内科					長崎大学医師	九州大学医師 (2回/月)
	整形外科						長崎大学医師 (2回/月)
訪問		哲翁 直子	哲翁 直子		哲翁 直子	哲翁 直子	

午前 9:00～12:30 (受付 11:30まで) / 午後 15:00～17:30 (受付 17:00まで)

※日曜日と祝日は休診です。
 ※学会等の諸都合で変更になる場合があります。
 ※当院は予約制になっています。(産科・婦人科は除く)
 ※2016年6月から諸般の事情により産科・分娩取り扱いを休止しております。
 なお、婦人科外来、婦人科健診につきましては今まで通り行っております。

※こちらの2次元バーコードをスマートフォン等でスキャンしますと、
 当院ホームページにアクセスすることができます。



医療法人 博愛会 哲翁病院
 住所: 南島原市口之津町甲1181番地
 TEL: 0957-86-3226 / FAX: 0957-86-3227



発行日: 令和4年1月28日 哲翁病院 広報委員会